

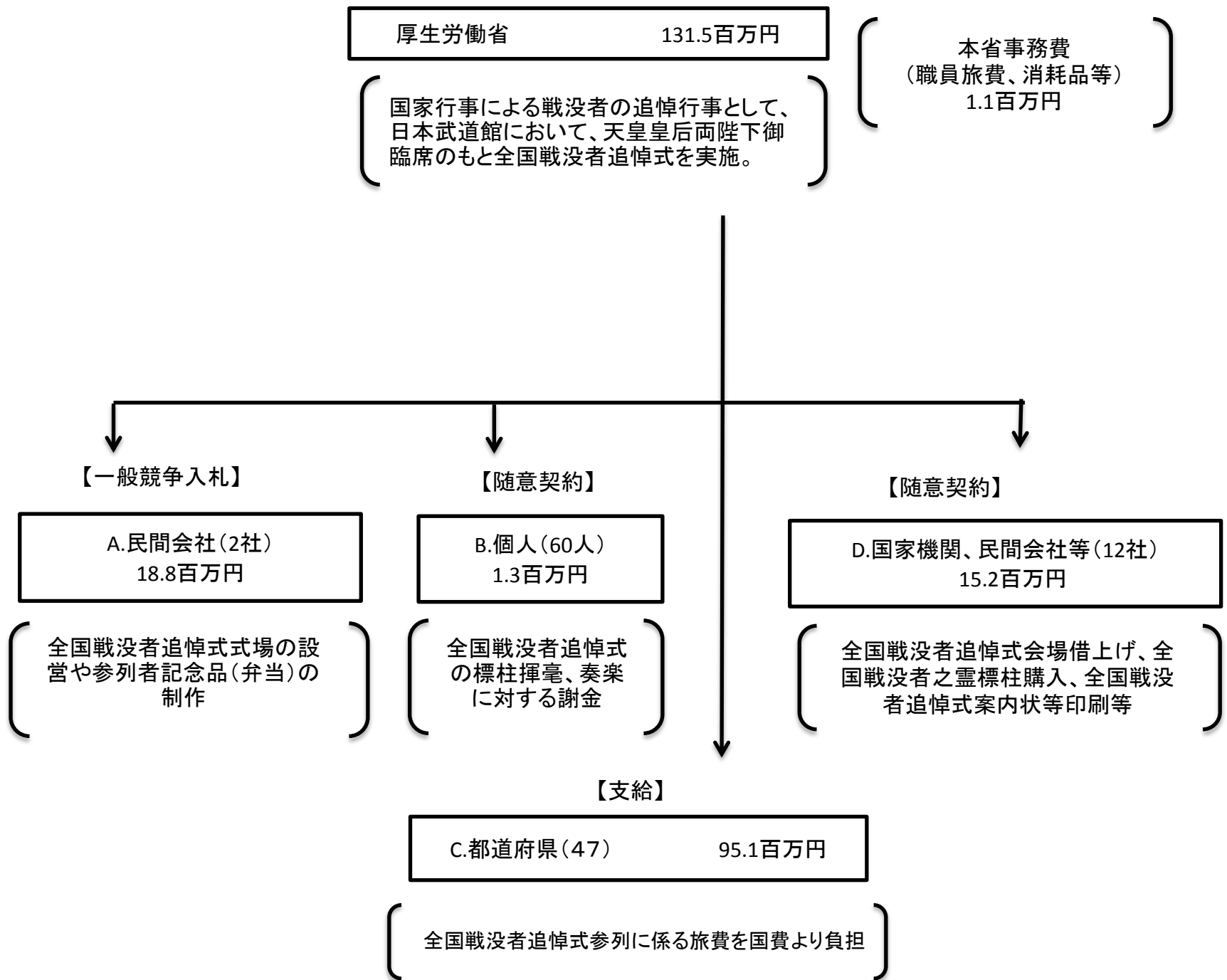
平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	戦没者追悼式挙行等事業			担当部局庁	社会・援護局		作成責任者			
事業開始年度	昭和38年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	援護企画課		井原 辰雄			
会計区分	一般会計			政策・施策名	VII-3-2 戦没者遺骨収集帰還事業等を行うことにより、戦没者遺族を慰藉すること					
根拠法令(具体的な条項も記載)	「戦没者を追悼し平和を祈念する日」について(昭和57年4月13日閣議決定) 「千鳥ヶ淵戦没者墓苑納骨並びに拝礼式の実施について」(昭和40年2月16日閣議報告)			関係する計画、通知等	-					
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	毎年8月15日を「戦没者を追悼し平和を祈念する日」とし、政府主催の全国戦没者追悼式を実施すること及び遺骨収集等により持ち帰られた遺骨で遺族に引き渡すことのできないものの納骨を行い併せて拝礼を行う。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	昭和38年から毎年8月15日に国家行事による戦没者の追悼行事として日本武道館(昭和40年度以降)において、天皇皇后両陛下御臨席のもとに全国戦没者追悼式を挙行している。式典は宗教的儀式を伴わないものとされ、全国から代表遺族を国費で参列させることとしている。 また、海外戦没者遺骨収集等により新たに持ち帰られた遺骨で、身元が判明しない等により遺族に引き渡すことのできない遺骨の納骨を行うとともに、併せて墓苑に納められている遺骨に対し拝礼を行うため、厚生労働省主催により昭和40年以降毎年春に皇族の御臨席をいただき、千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼式を挙行している。									
実施方法	委託・請負									
予算額・執行額(単位:百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
	予算の状況	当初予算	140	140	139	155	-			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計		140	140	139	155	0			
	執行額		134	136	136	-				
執行率(%)		96%	97%	98%	-					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	平成27年度に全国戦没者追悼式の参列者数を前年度以上にする。		全国戦没者追悼式の参列者数		成果実績	人	5,630	5,888	5,761	-
					目標値	人	5,899	5,630	5,888	5,761
					達成度	%	95.4%	104.6%	97.8%	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標					単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	全国戦没者追悼式の国費参列者数				活動実績	人	2,248	2,255	2,228	-
					当初見込み	人	2,350	2,350	2,350	2,350
単位当たりコスト	算出根拠					単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	全国戦没者追悼式執行額/全国戦没者追悼式参列者数				単位当たりコスト	円	23,020	22,337	22,836	-
					計算式	X/Y	129,604,502/5,630	131,521,981/5,888	131,558,681/5,761	-
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目		27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	諸謝金		2	-						
	戦没者追悼式参列旅費		110	-						
	職員旅費、庁費		43	-						
計		155	0							

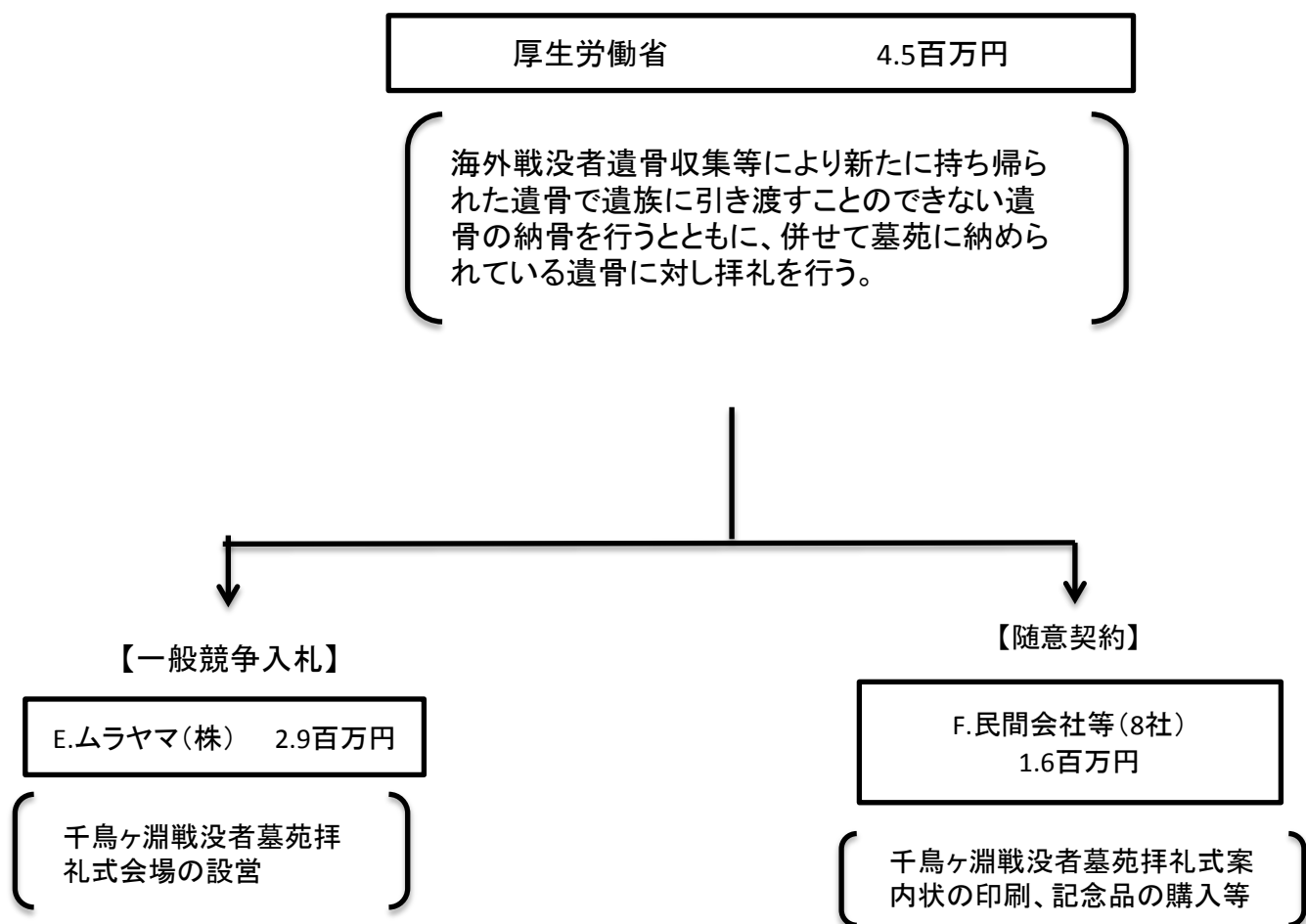
事業所管部局による点検・改善						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	本事業は閣議決定に基づき国が実施すべき事業となっている。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	本事業は閣議決定に基づき国が実施すべき事業となっている。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	戦没者の追悼行事、遺骨に対する拝礼は重要であり、優先度の高い事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争入札を実施し競争性の確保に努めているが、全国戦没者追悼式は閣議決定において日本武道館で実施することとなっているため、会場借り上げは随意契約としている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	閣議決定により、遺族代表は国費負担で参列することとなり、国家行事による戦没者の追悼という観点から妥当である。		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	本事業では実績額を反映させ、コスト削減に努めている。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	本事業経費は式典実施の目的に即した費目に限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	概ね見込みどおりの参列者となっている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	概ね見込みどおりの参列者となっている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	当課では軍人軍属等遺族の参列については国費負担で行っているのに対し、総務省では一般戦災死没者遺族の参列について国費負担で行っているため、適切な役割分担を行っている。		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
	総務省	-	一般戦災死没者の慰霊事業経費			
点検・改善結果	点検結果	本事業については、閣議決定に基づく会場借上、施設整備を除いては過去の実績額を反映した適正な予算規模、支出となっている。平成26年度の参列者は前年度を下回ったものの、一定の参列者実績があり、実効性の高いものとなっている。今後は、参列遺族の高齢化に対応した会場設営及び次世代継承を踏まえた若年世代の参列者増が課題である。				
	改善の方向性	今後も引き続き、一定の参列者が見込まれるが、参列遺族の高齢化が課題となっているため、高齢化に対応した会場を設営するとともに、平成27年度は戦後70年にあたるため、今後は次世代への継承も勘案して、若年世代の参列を増やす等の対応を検討し、必要な予算措置を行っていく。				
外部有識者の所見						
-						
行政事業レビュー推進チームの所見						
-						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-						
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	458	平成23年度	416	平成24年度	362	
平成25年度	727	平成26年度	725			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

①全国戦没者追悼式挙行経費



②千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼式挙行経費



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と用途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.(株)ムラヤマ			E.(株)ムラヤマ		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	雑役務費	全国戦没者追悼式式場設営等業務	15.9	雑役務費	千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼式の会場設営請負	2.9
	計		15.9	計		2.9
	B.百万円を超える支出がないため省略			F.百万円を超える支出がないため省略		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.島根県			G.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	戦没者追悼式 参列旅費	全国戦没者追悼式参列旅費	3.6			
計		3.6	計		0	
D.(公財)日本武道館			H.			
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
借料及び損料	全国戦没者追悼式の式場借上等一式	7.1				
借料及び損料	全国戦没者追悼式の式場借上等一式(付帯施設設備利用料)	1.9				
計		9	計		0	

支出先上位10者リスト

A.民間会社

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ムラヤマ	全国戦没者追悼式式場設営	15.9	1	99.9%
2	(株)京樽	参列者記念品(弁当)の制作	2.9	1	99.9%

B個人

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	全国戦没者追悼式の標柱揮毫に対する謝金	0.3	-	-
2	個人B	全国戦没者追悼式の奏楽に対する謝金	0	-	-
3	個人C	全国戦没者追悼式の奏楽に対する謝金	0	-	-
4	個人D	全国戦没者追悼式の奏楽に対する謝金	0	-	-
5	個人E	全国戦没者追悼式の奏楽に対する謝金	0	-	-
6	個人F	全国戦没者追悼式の奏楽に対する謝金	0	-	-
7	個人G	全国戦没者追悼式の奏楽に対する謝金	0	-	-
8	個人H	全国戦没者追悼式の奏楽に対する謝金	0	-	-
9	個人I	全国戦没者追悼式の奏楽に対する謝金	0	-	-
10	個人J	全国戦没者追悼式の奏楽に対する謝金	0	-	-

C都道府県

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	島根県	全国戦没者追悼式参列に係る経費を国費により負担	3.6	-	-
2	宮崎県	全国戦没者追悼式参列に係る経費を国費により負担	3.6	-	-
3	鹿児島県	全国戦没者追悼式参列に係る経費を国費により負担	3.4	-	-
4	高知県	全国戦没者追悼式参列に係る経費を国費により負担	3.3	-	-
5	熊本県	全国戦没者追悼式参列に係る経費を国費により負担	3.3	-	-
6	香川県	全国戦没者追悼式参列に係る経費を国費により負担	3.1	-	-
7	山口県	全国戦没者追悼式参列に係る経費を国費により負担	3.1	-	-
8	長崎県	全国戦没者追悼式参列に係る経費を国費により負担	3	-	-
9	徳島県	全国戦没者追悼式参列に係る経費を国費により負担	3	-	-
10	佐賀県	全国戦没者追悼式参列に係る経費を国費により負担	2.9	-	-

D国家機関、民間会社

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公財)日本武道館	全国戦没者追悼式会場借上(会場利用料)	7.1	随意契約	-
2	(公財)日本武道館	全国戦没者追悼式会場借上(付帯施設設備利用料)	1.9	随意契約	-
3	中部森林管理局	全国戦没者之霊標柱購入	3.2	随意契約	-
4	(株)ムラヤマ	冷却設備(氷柱)の設置	0.7	随意契約	-
5	(株)ムラヤマ	看板等設置	0.5	随意契約	-
6	(株)ムラヤマ	パーティションの借上	0	随意契約	-
7	三新木材株式会社	標柱(檜)の加工等一式	0.6	随意契約	-
8	日本リーテック(株)	看板設置等一式	0.3	随意契約	-
9	(株)ホテルグランドパレス	会場等借上一式	0.2	随意契約	-
10	株式会社東衣装店	モーニングコート借上一式	0.2	随意契約	-
11	大和綜合印刷(株)	全国戦没者追悼式における座席図(詳細図)コピーの印刷	0.1	随意契約	-
12	大和綜合印刷(株)	全国戦没者追悼式における記章の揮毫	0	随意契約	-
13	独立行政法人国立国際医療研究センター	全国戦没者追悼式における医師等の派遣	0.1	随意契約	-
14	有限会社野田商行	全国戦没者追悼式における記章の揮毫	0.1	随意契約	-
15	有限会社野田商行	消耗品(紙テープ等)	0.1	随意契約	-

E民間会社

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ムラヤマ	千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼式の会場設営請負	2.9	1	99.9%

F民間会社

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大和綜合印刷(株)	千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼式案内状の印刷	0.8	随意契約	-
2	有限会社野田商行	千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼式での記章作成	0.2	随意契約	-
3	有限会社野田商行	千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼式における記章の揮毫	0	随意契約	-
4	榮太樓商事株式会社	記念品	0.2	随意契約	-
5	オスカー・ジャパン株式会社	千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼式における通訳	0.2	随意契約	-
6	株式会社東衣装店	式服の借上	0.1	随意契約	-
7	靖國神社社務所	臨時駐車場の借上	0	随意契約	-
8	(株)ムラヤマ	トランシーバーの借上	0	随意契約	-
9	(有限)タケマエ	消耗品(水他)	0	随意契約	-
10					